

産業祭・文化祭

小野町50周年記念産業祭・文化祭が10月29日、30日の両日、小野運動公園において、44団体の協賛によって盛大に開催され、町内外から約1万2000人の人々が訪れました。

今年から、産業祭と文化祭が合同で開催されることとなり、産業祭は町民体育館玄関前に屋外ステージを設けて、各種イベントを繰り広げ、海洋センター！



文化祭展示

「私の感じた日本のもったいない」の講演がありました。続いて、蓮田市の花蝶風月の皆さんによる、蓮田音頭やヤングバージョンが披露され、町民の飛び入り参加もあって、会場内が一段と盛り上がりました。

消防署コーナーでは、起震車による地震体験に、子どもから大人まで、地震の揺れを体験し、防災について学びました。屋外ステージでは、NPO法人ルワンダの教育を考える会副理事長マリールイズさんによる、

初日は、実行委員長（六戸町長）のあいさつ、議会議長の祝辞に続き、関係者によるテープカットで始まりました。

親の世代の方々が、懐かしく感じて見入っている様子でした。

また、体育館内では千葉県船橋市在住の金基英（キムキヨン）さんの韓国民話語りが開かれ、多数のおじいちゃん、おばあちゃんが入っていました。

2日目は、小野町建設業協会の、建設機械試乗体験コーナーに子どもから大人まで多くの方々が参加しました。ミニ・ユニボ操作では、女の子も参加、プ口的オペレーターの指導に、最初は戸惑いながらも上手な操作を見せてくれました。高所作業車では、子どもと一緒に大人も同乗して、運動公園付近のパノラマ風景に感激する場面が見られました。

ウルトラセブンショーでは、

両日にわたり、恒例のビンゴ大会と大抽選会が行なわれ、賞品の当選者が読み上げられると、会場からの歓声で賑わいました。サンマつかみ取り大会は、開始早々30分ほどで完売となりました。

産業祭と文化祭の合同開催、開催場所変更による来場者の声は、「展示会場が広い」、「場所が分かりやすい」、「駐車場が広い」といった好評をいただきました。産業祭・文化祭の開催にご協力くださいました多くの皆さんに、紙上より厚く御礼申し上げます。

義援金は、財団法人福島県交通遺児奨学基金協会を通じ、交通事故の災禍により父母などの保護者を失った小・中学生の健全やかな成長に助成されます。温かいご支援ありがとうございました。

また、おのショップングプラザ・(株)ダイユーエイト・ヨークベニマル(株)小野プラザ店の3店では、チャリティーバザーを開催した売上金63,000円のご寄付がありました。



農作物品評会



お楽しみ抽選会

交通遺児への募金ありがとうございました

産業祭・文化祭（10月29・30日開催）において、会場においでの方から小野町交通安全母の会（村上ひで子会長）の募金活動により、61,034円の募金をいただきました。

また、おのショップングプラザ・(株)ダイユーエイト・ヨークベニマル(株)小野プラザ店の3店では、チャリティーバザーを開催した売上金63,000円のご寄付がありました。

義援金は、財団法人福島県交通遺児奨学基金協会を通じ、交通事故の災禍により父母などの保護者を失った小・中学生の健全やかな成長に助成されます。温かいご支援ありがとうございました。

小野町交通安全母の会の皆さん